

自動車整備市場データ・平成13年度調査

- : 東京都・三都比較 : -

1. 東京都

地域別データ・東京都・業態別・平成13年度調査

項目 / 業態	専・兼業計	順位	シェア	ディーラー	順位	シェア	自家	シェア	順位	合計	順位	シェア
総売上高	2,041	1	6.5	2,572	1	9.4	494	16.5	1	5,107	1	8.3
同増減率	-9.9	41		5.3	20		2.7		22	-1.6	27	
事業場数	3,975	1	6.0	1,075	1	6.7	442	10.4	1	5,491	1	6.3
同増減率	5.5	3		0.7	18		-13.0		45	2.8	5	
整備要員数	14,601	1	5.8	8,381	1	7.6	2,661	11.9	1	25,643	1	6.7
同増減率	-1.2	34		2.7	24		-4.6		37	-0.3	36	
売上 / 事業場	5,136	17	110	23,926	2	143	11,176	153	2	9,301	5	132
同増減率	-14.6	45		4.6	19		18.0		8	-4.2	31	
売上 / 要員数	1,398	10	115	3,069	3	129	1,856	133	1	1,992	2	127
同増減率	-8.8	37		2.6	13		7.6		12	-1.2	26	

(注)単位：総売上高 = 億円、整備要員数 = 人、売上 / 事業場・売上・要員 = 万円  
 シェア・増減率 = %、売上 / 事業場・売上 / 要員数シェア：全国平均 = 100。

資料出所：日整連実態調査平成13年度。

2. 三都比較

地域別データ・三都比較・全国対比表・平成13年度

都府県別 指 標	東京都			愛知県			大阪府			全 国
	実績	順位	シェア	実績	順位	シェア	実績	順位	シェア	実績
総売上高	5,107	1	8.3	4,390	2	7.1	3,650	3	5.9	61,702
前年度比	-1.6	27		-31.7	53		-15.9	48		-1.6
事業場数	5,491	1	6.3	4,980	2	5.8	4,742	3	5.5	86,591
前年度比	2.8	5		-0.1	45		-2.5	52		0.7
整備要員数	25,643	1	6.7	21,936	2	5.7	20,704	3	5.4	384,031
前年度比	-0.3	36		0.3	30		-2.5	45		1.5
売上 / 事業場	9,301	5	132	8,815	6	125	7,697	14	109	7,062
前年度比	-4.2	31		-31.6	53		-13.8	45		-6.6
売上 / 要員数	1,992	2	127	2,001	1	128	1,763	7	112	1,568
前年度比	-1.2	26		-31.9	53		-13.8	47		-6.7
保有台数	4,624	2	6.1	4,733	1	6.2	3,780	4	5.0	76,271
前年度比	0.02	47		1.11	21		0.24	46		0.99
台数 / 事業場	842	32	96	950	11	108	797	37	90	881
売上 / 台数	110,442	5	137	92,745	11	115	96,570	8	119	80,899

(注)単位：総売上高 = 億円、整備要員数 = 人、売上 / 事業場・売上・要員 = 万円  
 増減率 = %、シェア = %、  
 ただし売上 / 事業場・売上 / 要員数・台数 / 事業場・売上 / 台数  
 シェア：全国平均 = 100。

資料出所：日整連・平成13年度実態調査データ、  
 自検協・平成14年3月末。

## 自動車整備市場データ・平成13年度調査

- : 東京都・三都比較 : -

### 東京都の地位...市場規模は全国トップだが

総売上高5,107億円、シェア8.3%、事業場数5,491、同6.3%、整備要員数25,643人、同6.7%はいずれも全国53支局管内中トップ、前年度愛知県にトップの座を譲った総売上高も首位を回復。

業態別に見ても、独立系(専業・兼業合計、以下同じ)、ディーラー系、自家系いずれも順位はすべて1位、需給両面にわたり、名実ともにリーディング・マーケット。

しかし、一事業場当たり平均年間売上高9,301万円は、全国平均の7,062万円に比べれば32%多いものの、順位は第5位。

業態別に見れば、ディーラー系23,926万円、自家系11,176万円の順位はいずれも第2位を占めているが、独立系5,136万円は第17位に順位は下がり、全国平均との格差も10%程度。

また、整備要員一人当たり平均年間売上高1,992万円は、全国平均1,568万円を27%上回るものの、順位は愛知県に次いで第2位。

業態別に見れば、自家系1,856万円、第1位、ディーラー系3,069万円台3位に対し、独立系は1,398万円、第10位とかなり低く、ベストテンにはとどまっているものの、全国平均との格差は15%程度。

一方、前年度比増減動向を見れば、総売上高1.6%減は全国平均と肩を並べているものの、業態別ではディーラー系5.3%増、第20位、自家計2.7%増、第22位に対し、独立系は9.9%減、第41位と不振。

事業場数2.8%増は全国平均0.7%増を上回っているものの、業態別では、独立系5.5%増、第3位、ディーラー計0.7%増、第18位に対し、自家系は13.0%減、第45位の大幅マイナス。

整備要員数は全国平均1.5%増に対し、0.3%減、順位も第36位と低位で、業態別では、ディーラー計2.7%増、第24位に対し、独立系1.2%減、第34位、自家系4.6%減、第37位とマイナス。

一事業場当たり売上高は4.2%減、第31位、全国平均6.6%減に比べ落ち込み幅は小さいものの、業態別では、ディーラー系4.6%増、第19位、自家系18.0%増、第8位に対し、独立系は14.6%減、第45位の大幅マイナス。

また、整備要員一人あたり売上高は1.2%減26位、全国平均6.7%減に比べ落ち込み幅は小さいものの、業態別では、ディーラー系2.6%増、第13位、自家系7.6%増、第12位に対し、独立系は8.8%減、第37位と大幅な落ち込み。

とくに、独立系の低調さが目を引くところであろう。

## 2. 三都比較...大都市圏市場の厳しさ反映

総売上高はいずれも前年度比マイナスだが、落ち込み幅は東京都がもっとも小さい。

ただし、愛知県の落ち込み幅がもっとも大きく順位も最下位となっているが、前年度の“名古屋市水害特需”反動減の特殊要因を考慮する必要がある。

事業場数は、大阪2.5%減、愛知0.1%マイナスに対し、東京のみ2.8%プラス。

整備要員数は、愛知のみ0.3%プラスに対し、東京0.3%、大阪2.5%マイナス。

一事業場当たり、および、整備要員一人あたり売上高は、総売上高マイナスの影響が大きく、いずれもマイナス。

特殊要因のある愛知は別として、大阪の地盤沈下は激しく、東京はまだまし。

次に、需要基盤を形成する保有台数の動向を見れば、愛知が4,733千台でトップ、次いで東京4,624千台、大阪は3,780千台で第4位を占めている。

ちなみに、東京が愛知にトップの座を譲ったのは平成13年4月、以降、格差は拡大傾向にある、また、東京に次いで第3位は神奈川。

前年度比では、東京0.02%増、47都道府県中の順位は最下位の第47位、大阪は0.24%増、同第46位に肩を並べているのに対し、愛知は1.11%増、同第21位と全国平均の0.99%増を上回っている。

また、一事業場当たり平均台数を見れば、愛知950台、同第11位と全国平均の881台を上回っているのに対し、東京842台、同第32位、大阪797台、同第37位といずれも全国平均を下回っており、とくに大阪の需給環境の厳しさがうかがえる。

なお、平成14年10月末の保有台数前年同月比は、全国平均は0.85%増に低下、東京は0.04%減とマイナスに転じ、大阪0.03%増、愛知0.95%増と一段と厳しさを増している。

次に、保有台数1台あたり平均単価を見れば、東京110,442円、47都道府県中第5位、大阪96,570円、同第8位、愛知92,745円、同11位の順で、いずれも全国平均の80,899円を上回り上位を占めており、価格水準は高い。

全国平均との格差は、東京37%、大阪19%、愛知15%程度。

東京、大阪の場合、保有台数が頭打ちになっているだけに価格水準の低下は直ちに売上減につながることは明白であろう。

(中小企業診断士・石井克巳)